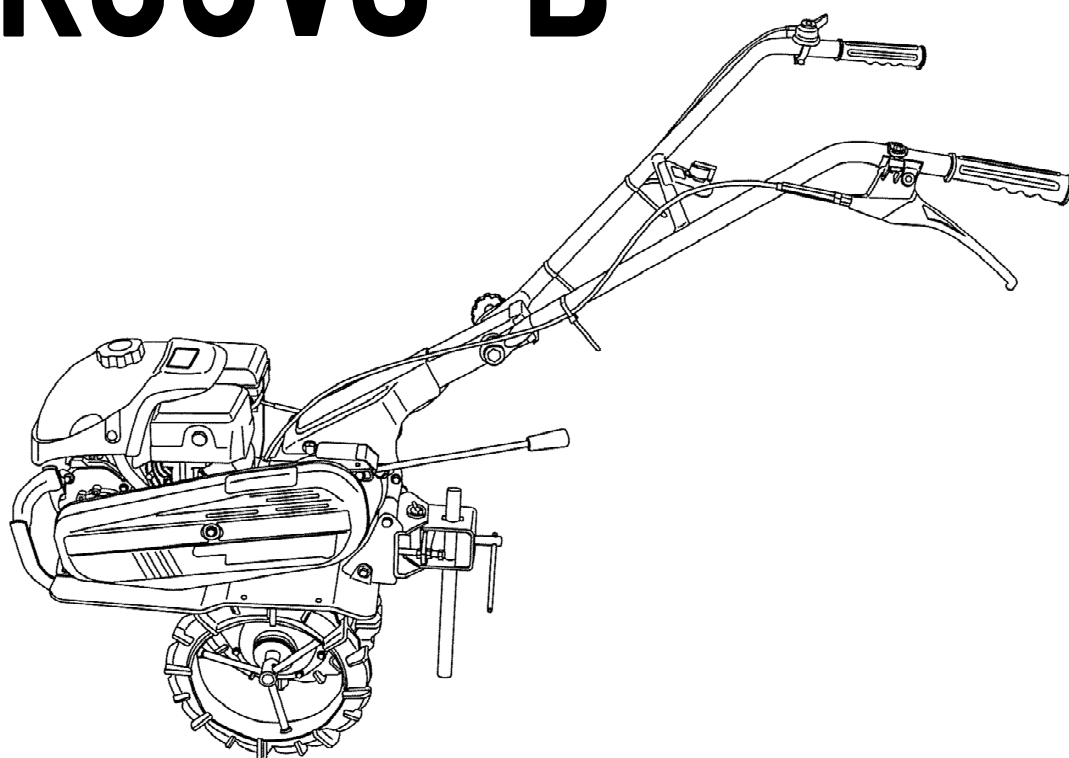


ヘルパー 管理機

取扱説明書

K35VS-B



当製品を正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。



関東農機株式会社

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明所は、製品の取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて充分理解され、正しい取扱いをしてくださるようお願いいたします。 又、管理作業機を他の人にお貸し出される場合は、この取扱説明書も併せて貸し出していただき、正しい取扱をしていただくようにご指導をお願いいたします。

安全作業のポイント

- ◎ 安全な作業をしていただくためには、まず機械の使い方を充分理解し、正しい取り扱いをすることが基本となります。
- ◎ この取扱説明書では、とくに重要と考えられる取扱上の注意事項について、次のように表示しています。
必ずお読みいただいて事故のない楽しい作業をしてください。



危険 — その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。



警告 — その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



注意 — その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示します。

取扱上の注意 — その警告文に従わなかった場合、機械の損傷を起す恐れのあるものを示します。

管理機の使用目的・使用範囲

本製品は農業用管理作業機です。畑や圃場内での管理作業にご使用ください。使用目的以外の作業や、改造は絶対にしないこと。

目次

安全に作業するために	1
警告ラベルとその取扱い	5
サービスと保証について	7
各部の名称	8
上手な運転のしかた	10
1. 運転前の準備	10
2. エンジンの始動	12
3. 操 作	13
4. エンジンの停止	13
こんなときどうする	14
1. ミッションケースのオイル交換	14
2. エンジンオイルの交換は	14
3. Vベルトの張りの調節	14
4. ハンドルの高さ調節	14
5. 長期格納の仕方	15
仕様・諸元	16
培土器の取付け方	17



安全に作業するために

管理機の取扱いは正しく、ちょっとした油断がもとで、思わぬ事故を招くことがあります。安全で能率的な作業を行うために、次のことをお守りください。



警告 こんなときは運転しない

1. 体の調子の悪いとき 2. 酒を飲んだとき
3. 妊娠している時 4. 16歳未満の人

<守らないと>

死亡事故や重大な障害、機械の破損を招く恐れがあります。



警告 作業に適した服装

1. はち巻・首巻き・腰タオルは厳禁 2. だぶつきのない服装
3. ヘルメットなどの防護具の着用

<守らないと>

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告 他人に機械を貸すときは取扱い方法を説明する。

取扱い方法を説明し、使用前に取扱い説明書を必ず読むように指導してください。

<守らないと>

死亡事故や重大な障害、機械の破損を招く恐れがあります。



警告 機械の改造禁止

純正部品や指定アタッチメント以外の部品を取付けしないで下さい。
機械を改造しないでください。

<守らないと>

死亡事故や重大な障害、機械の破損を招く恐れがあります。



注意 点検・整備を行う

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

定期の点検・整備をかならず受けてください。

<守らないと>

事故・ケガ・機械の破損を招く恐れがあります。

安全に作業するために



警告 点検・整備は平坦な場所で行ってください。
機械がたおれたり動いたりしない平坦で安定した場所で
タイヤに輪止めをして行って下さい。

<守らないと>

機械が転倒するなど、思わぬ事故を招く恐れがあります。



警告 点検・整備中はエンジン停止。
点検・整備・修理・または掃除を行うときはエンジンの
回転を停止してください。

<守らないと>

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告 カバー類は必ず取り付ける。
点検整備などで取り外したカバー類は必ず元通りに
取付けてから作業してください。

<守らないと>

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告 したにもぐったり、足を入れない。
バイドの点検、整備をするときは、下にもぐったり
足を踏み込んだりしないで下さい。

<守らないと>

機械が倒れるなどして重傷を負う危険があります。



危険 燃料補給、注油時は火気厳禁。
エンジンを停止し、くわえタバコ、裸火証明は絶対に
しないこと。

<守らないと>

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。



警告 車軸やバイドに巻きついた草などを取り除く
ときはエンジンの回転を停止する。

<守らないと>

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



安全に作業するために



危険 燃料キャップを閉め、こぼれた燃料はふき取る。
燃料を補給した後は、燃料キャップを確実に閉め、こぼれた
燃料をきれいにふき取ってください。

<守らないと>

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。



警告 排気ガスには十分に注意する。
締め切った室内ではエンジンを始動しないでください。
エンジンは風通しの良い屋外で始動してください。やむをえず
屋内で始動する場合は十分に換気してください。

<守らないと>

排気ガス中毒を起こし、死亡事故にいたる恐れがあります。



注意 マフラーの高温に注意
運転中及びエンジン停止直後のマフラーは高温です
触れないでください

<守らないと>

ヤケドをする恐れがあります。



警告 マフラー、エンジン回りのゴミは取り除く。
マフラー、エンジン周辺にゴミ、ワラクス、燃料が付着して
いないか毎日作業前に点検してください。

<守らないと>

火災事故を引き起こす恐れがあります。



警告 坂道、アユミ板の上では変速禁止
適正な速度段を選択し、坂道やアユミ板の上では主クラッチ
を切ったり変速をしないでください。

<守らないと>

事故を引き起こす恐れがあります。



警告 運搬は天井のない車を使用する。
運搬は荷台に天井の無い車を使用し、前方に注意し低速で
行って下さい。

<守らないと>

ハンドルと天井の間などにはさまれて事故を引き起こす
恐れがあります。



安全に作業するために



警告

作業機を装着するときは、作業機の取扱い
説明書を読む

作業機を装着するときは、事前にならず作業機の説明書を
良く読んで理解して下さい。

<守らないと>

傷害事故や機械の破損を引き起こします。



警告

作業機の着脱は平坦な場所で行う

作業機の着脱は平坦で安定した場所で行って下さい。

夜間は適切な照明をしてください

<守らないと>

傷害事故や機械の破損を引き起こします。



警告

溝、あぜ越えは、アユミ板を使用する。

圃場にはいるとき、溝、あぜを渡るとき、軟弱な所を通る時は、
幅、長さ、強度のあるアユミ板を使用してください。

<守らないと>

転倒やスリップによる事故を起こす恐れがあります。



警告

積み降ろしは、低速で行う

積み降ろしは、丈夫な、すべり止めをしたアユミ板を確実に
固定し下りはバインド等を引っ掛けないように注意し、周囲に
人がいないことを確かめ低速で行って下さい。

<守らないと>

転落などの事故を引き起こす恐れがあります。



注意

シートは機械が十分に冷えてから掛ける。

機械にシートを掛ける場合は、マフラーやエンジンが
充分冷えてから掛けて下さい。

<守らないと>

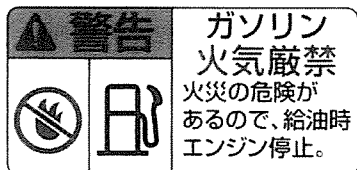
火災事故を引き起こす恐れがあります。

安全に作業するために

警告ラベルとその取扱い

【ラベルのメンテナンス】

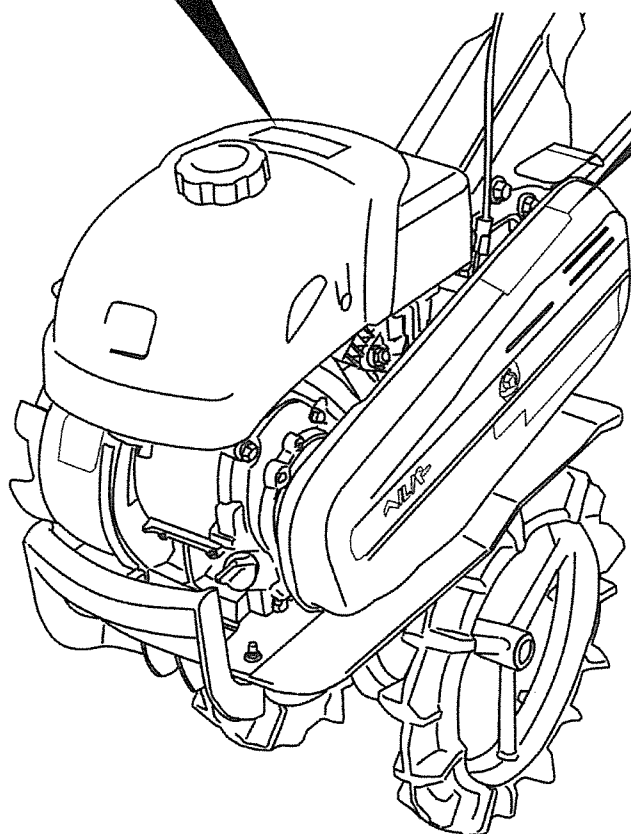
- (1) 警告ラベルは、いつも綺麗にして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したり、はがれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り乾いた面にして元の位置に貼ってください。



品番:220121070806000



品番:286350000805000



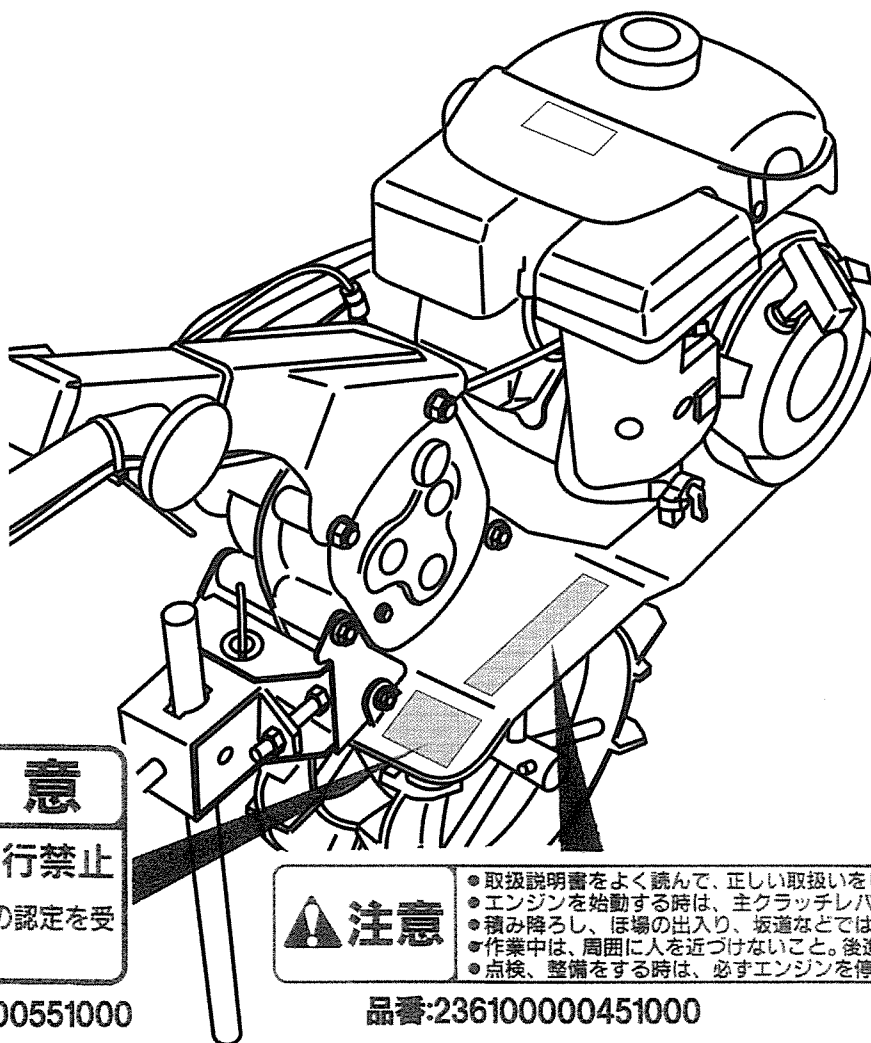
※この頁に表示のラベルは全て縮小されています。

安全に作業するために

警告ラベルとその取扱い

【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルは、いつも綺麗にして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したり、はがれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り乾いた面にして元の位置に貼ってください。



▲ 注意

トレーラ走行禁止

小型特殊自動車の認定を受けていません。

品番:222540000551000

▲ 注意

- 取扱説明書をよく読んで、正しい取扱いをし、安全な作業をすること。
- エンジンを始動する時は、主クラッチレバーを「切」にすること。
- 積み降ろし、ほ場の出入り、坂道などでは遅い車速で運転すること。
- 作業中は、周囲に人を近づけないこと。後進時は後方を確認すること。
- 点検、整備をする時は、必ずエンジンを停止すること。

品番:236100000451000

※この頁に表示のラベルは全て縮小されています。

サービスと保証について

保証書について

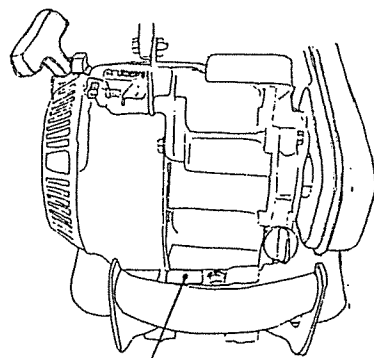
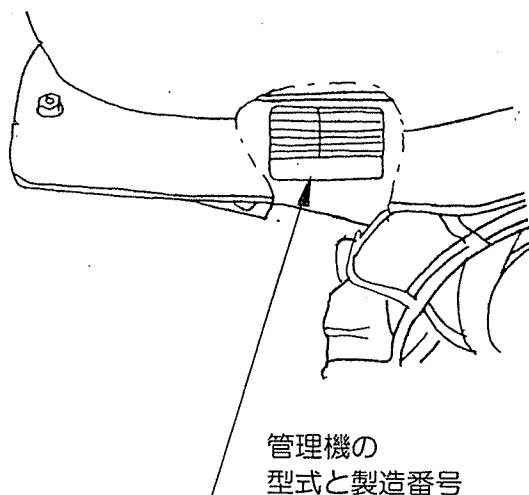
お客様が保証修理を受けられる場合に必要になるものです。

よくお読みになって大切に保管してください。

■アフターサービスについて
機械の調子が悪いときに、点検処置してもなお不具合があるときは、お買い上げの販売店又は直接当社にご連絡ください。

その際に連絡していただきたい内容

- 管理機の型式名
- 管理機の製造番号
- エンジンの型式銘と製造番号
- 故障内容（できるだけ詳しく）
 - どんな作業をしていましたか
 - どのくらい使いましたか
（アール、又は時間）



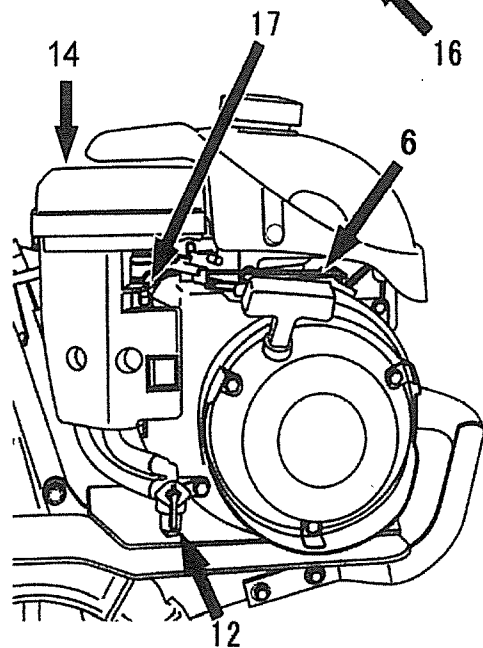
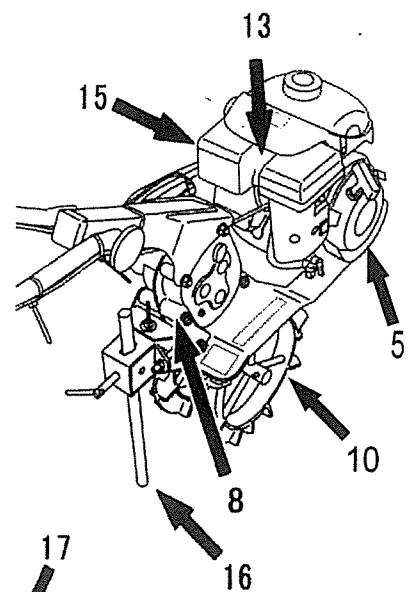
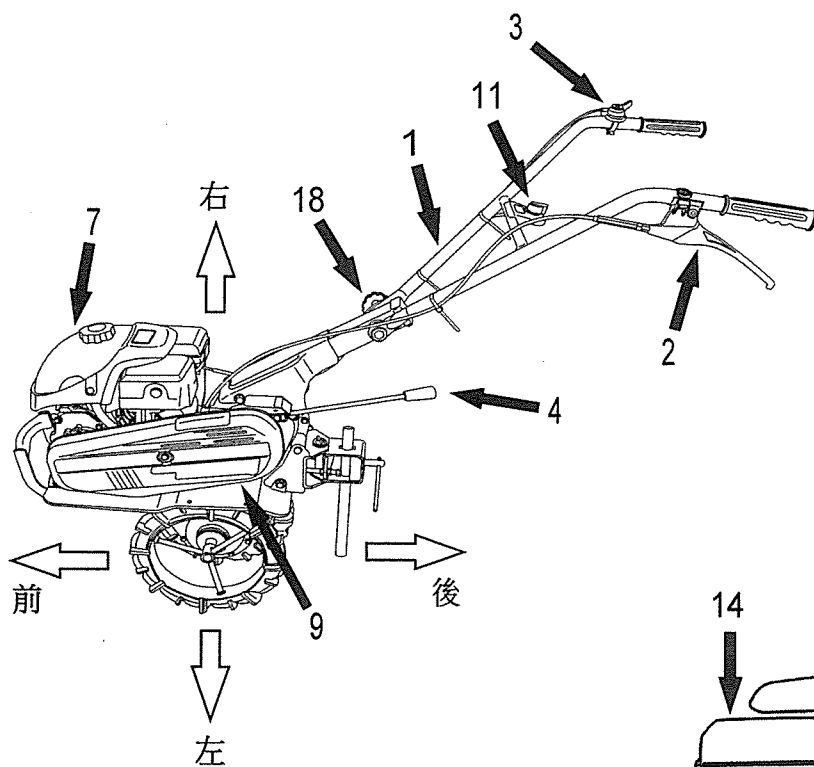
警告

機械の改造は危険ですので、改造しないで下さい。改造した場合や、取説に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意下さい。

1. 各部の名称 と 装置の取り扱い

1. ハンドル
2. 主クラッチレバー
3. スロットルレバー
4. 主変速レバー
5. エンジン
6. リコイルスターター
7. 燃料タンク
8. ミッションケース
9. ベルトカバー

10. 車 輪
11. エンジン停止スイッチ
12. 燃料コック
13. 点火栓
14. エアクリーナ
15. マフラー
16. スタンド
17. チョークバー
18. ハンドル高さ調節ノブ



2. 各部の名称 と 装置の取り扱い

主クラッチレバー



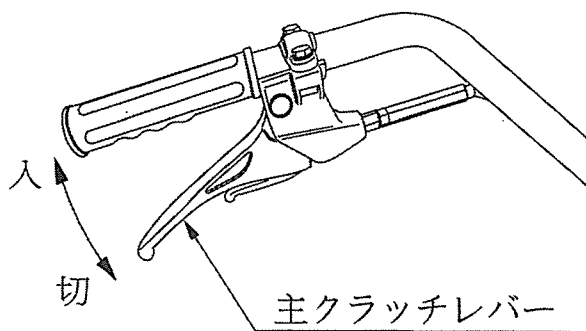
注記

* 傾斜地／狭い場所で作業する場合、主クラッチはゆっくり操作してください。

エンジンから車軸への動力を断続します。

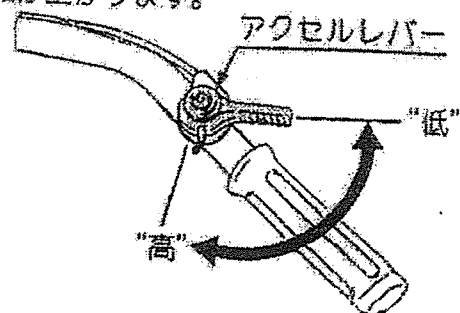
※主クラッチを切るときは、主クラッチレバーから手を離してください。

※主クラッチを入れるときは、主クラッチレバーを手で握ってください。



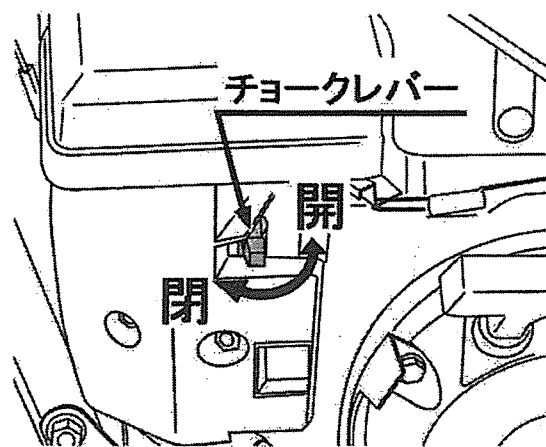
アクセルレバー

レバーを“高”の方向に回すと、エンジン回転が上がります。



チョークレバー

エンジンが冷えているときの始動時に操作します。



上手な運転のしかた

1. 運転前の準備

① ボルト・ナットの点検

- エンジン・ホイールハブ・ハンドルなどの各部取り付けボルト・ナットの締付けを点検します。

② 給油・注油

- 各給油個所には工場から出荷のときオイルが入れてありません。給油・脂表に従って給油します。



警告

- ☆給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。
- ☆燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
- ☆スタンドを立て機械を安定させて点検してください。
- ☆燃料が規定量以上給油されていないか確認してください。

《給油・脂表》

注 油 個 所	油 種	所 要 量	交 換 時 期
ミッションケース	ギヤオイル SAE 90#	1. 5ℓ	毎日点検50時間毎交換 (新車20時間で)
エンジン	エンジンオイル 春一秋 30# 冬一 20#	0. 4ℓ	毎日点検50時間毎交換 (新車25時間で)
ホイールチューブと 車 軸 の 間	グリース	適 量	毎度使用前塗布
主クラッチレバー軸	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適 量	毎日注油
テンションアーム	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適 量	毎日注油
主変速レバー軸	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適 量	毎日注油
ワイヤ、レバー類	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適 量	毎日注油
その他摩擦摺動部	エンジンオイル 又はギヤーオイル	適 量	毎日注油

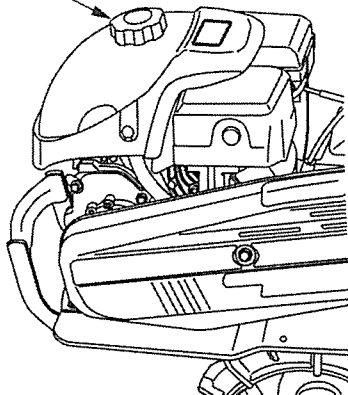
上手な運転のしかた

- ① エンジンの燃料タンクに燃料を入れて下さい。

必ずこしきを使って下さい。

規定量……… 1. 2ℓ

注油口



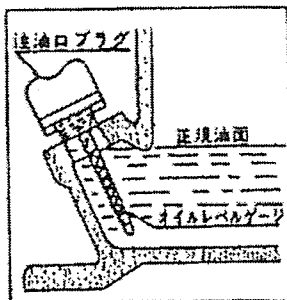
- ② エンジンオイルを入れて下さい。

エンジンオイル

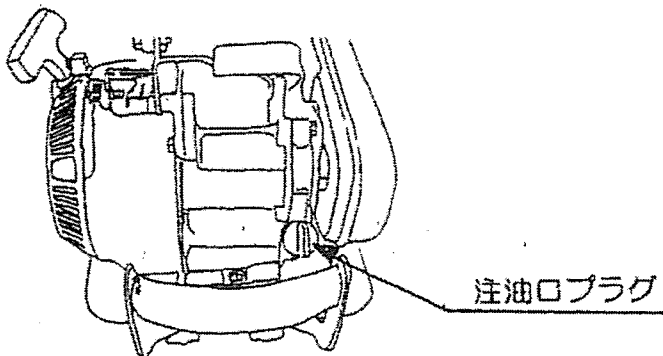
春・秋……… 30# 又は 10W-30

冬……… 20# 又は 10W-30

規定量……… 0. 4ℓ



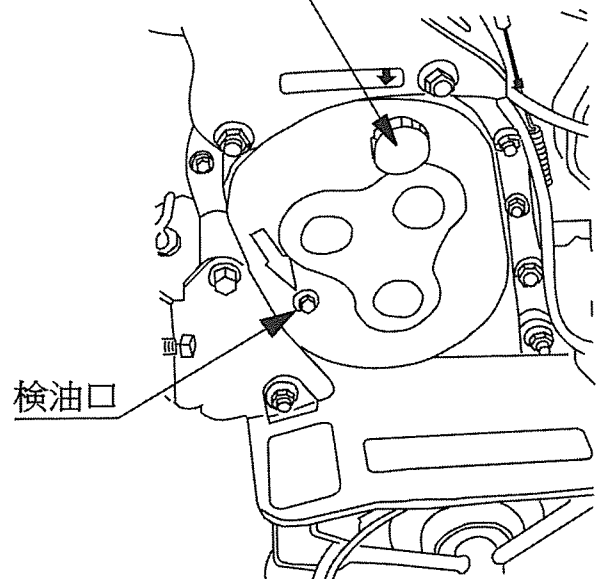
- エンジンを水平にして正規油面まで補給
- 油量は注油口プラグをねじ込まないでチェックする。



- ③ ミッションにオイルを入れて下さい。
検油口よりオイルが出るまで入れて下さい。

規定量 SAE 90# - - - 1.5ℓ

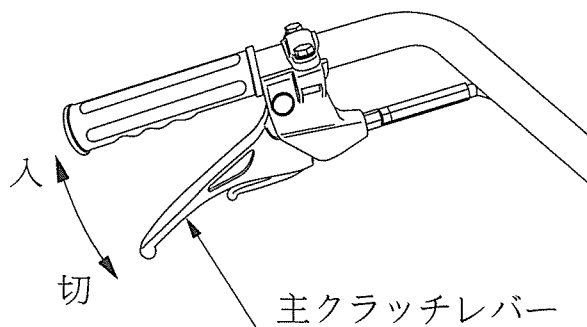
注油口



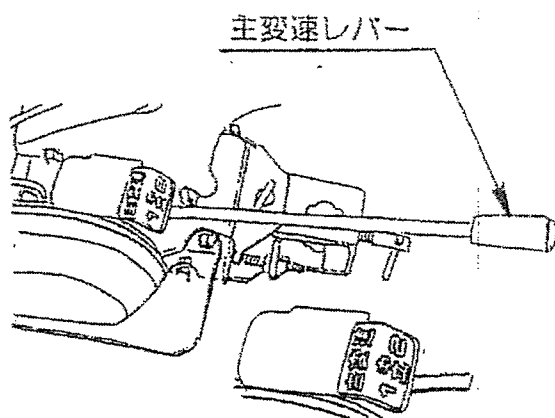
上手な運転のしかた

2. エンジンの始動

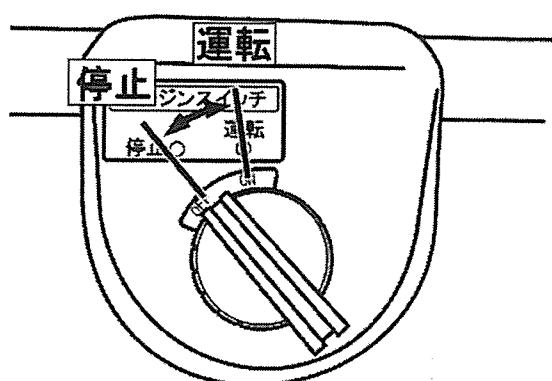
- 1) 主クラッチレバーが切になっているか確認して下さい。



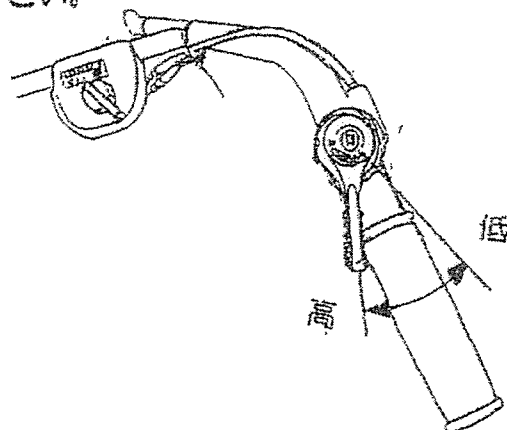
- 2) 主変速レバーも中立にして下さい。



- 3) エンジン停止スイッチを右(時計回り)に回して運転の位置にする。

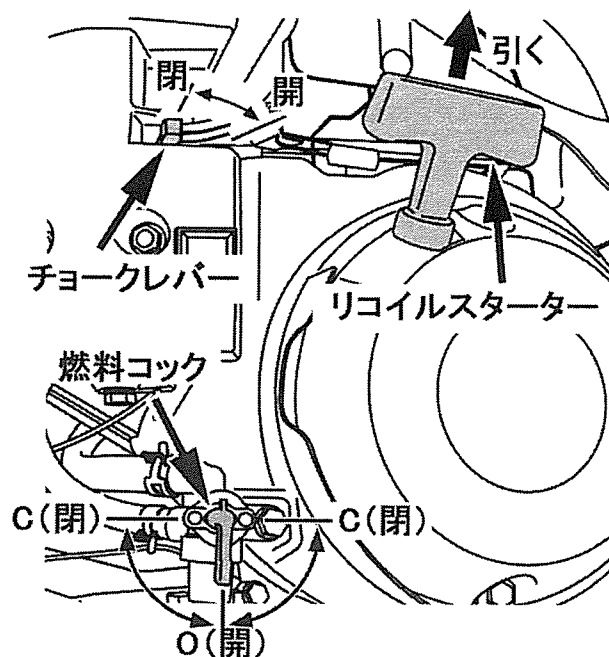


- 4) スロットルレバーを「高」の位置にして下さい。



- 5) 燃料コックをO(開)の位置にして下さい。

- 6) チョークレバーを閉じて下さい。
エンジンが暖まっている時はその程度により半開又は全開にします。



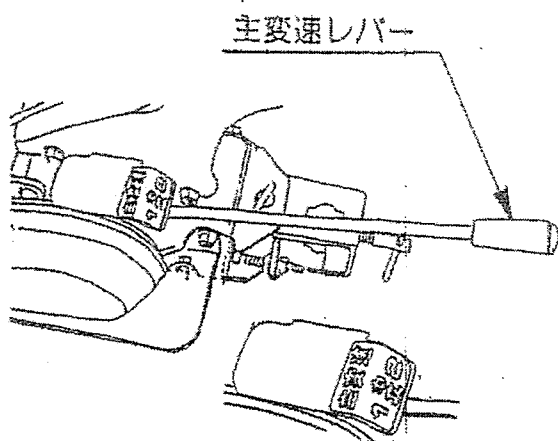
- 7) リコイルスターターを勢いよく引いて下さい。引いたまま手を放さずに静かに戻して下さい。

- 8) 始動したら回転の調子を見ながら、チョークレバーを徐々に全開にして2～3分暖気運転して下さい。

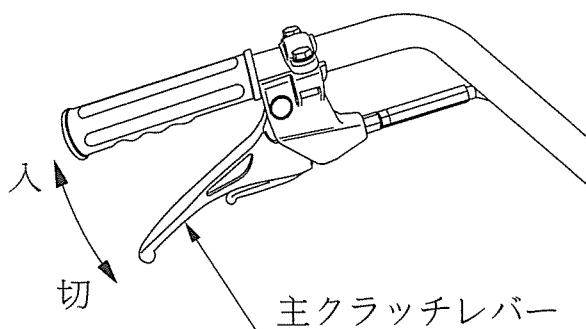
上手な運転のしかた

3、操 作

- 1) 作業に適した速度になる様に主変速レバーを操作して下さい。

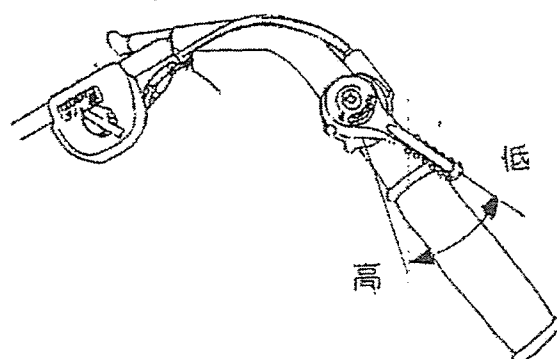


- 2) 主クラッチレバーを徐々に「入」にして下さい。

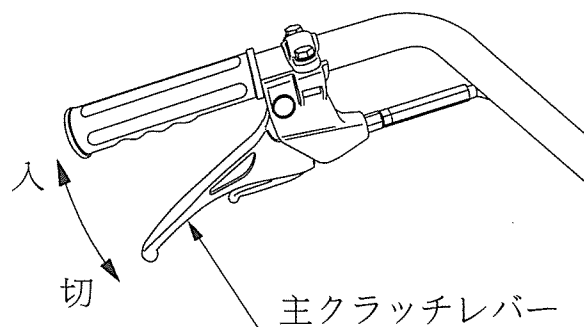


4、エンジンの停止

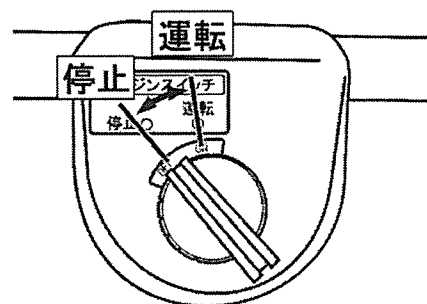
- 1) スロットルレバーを「低」の位置にして下さい。



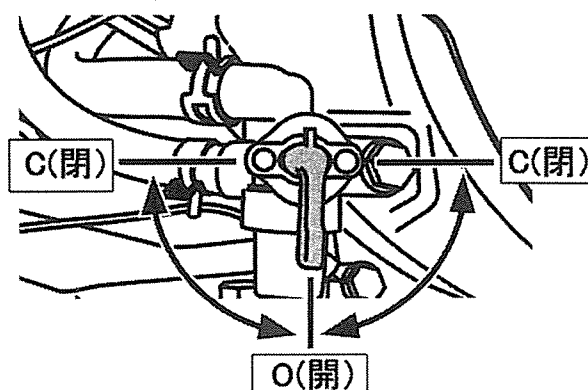
- 2) 主クラッチレバーを「切」の位置にして下さい。



- 3) スイッチを左（反時計回り）に回して停止の位置にする。



- 4) 燃料コックをC（閉）の位置にして下さい。



こんなときどうする

- 1、ミッションケースのオイルの交換は
年1回、SAE90#を規定量交換して下さい。

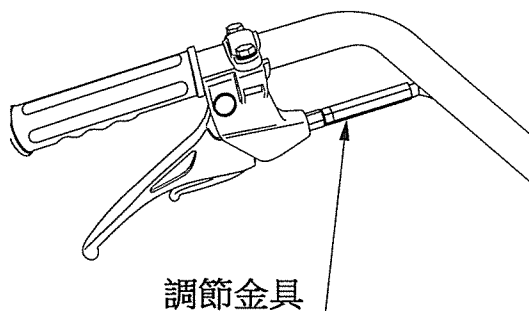
規定量……………1. 5ℓ

- 2、エンジンオイルの交換は
初回は20～30時間後、その後は
100時間毎使用に規定量交換して
下さい。

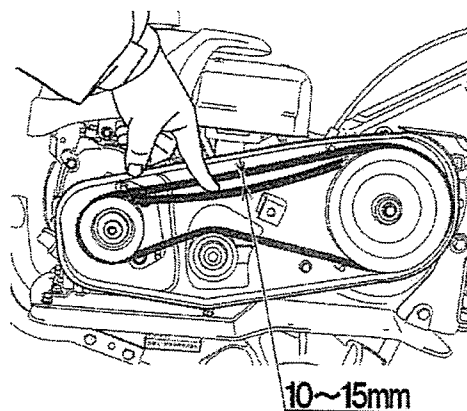
規定量 0. 4ℓ

- 3、Vベルトの張りの調節

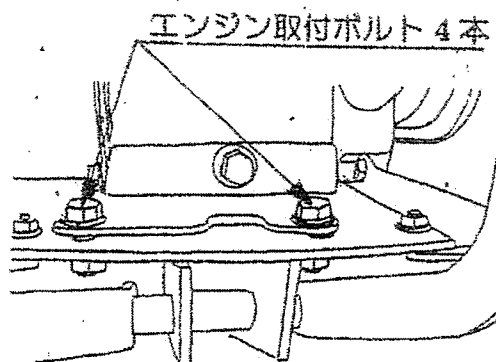
- (1) ワイヤーによる調節は
ワイヤーの調節金具で行って下さい。



- ・ベルトを張った状態で張り側を指で
押して10～15mm 位たるむ位が
適当です。

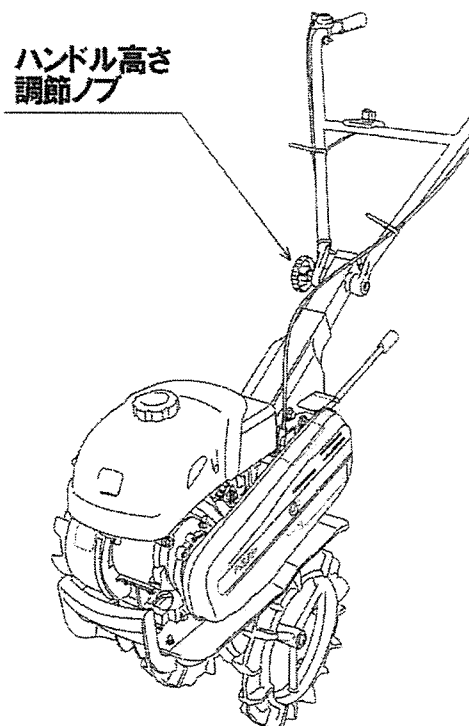


- (2) エンジン移動による調節は
エンジン取付ボルト4本をゆるめ、エ
ンジンを前後に移動して行います。



- 4、ハンドルの高さ調節

ハンドル高さ調整ノブを4～5回転ゆるめ
て、高さを調節してください。
ハンドルがガタつく場合は、六角部分をス
パナで締つけてください。



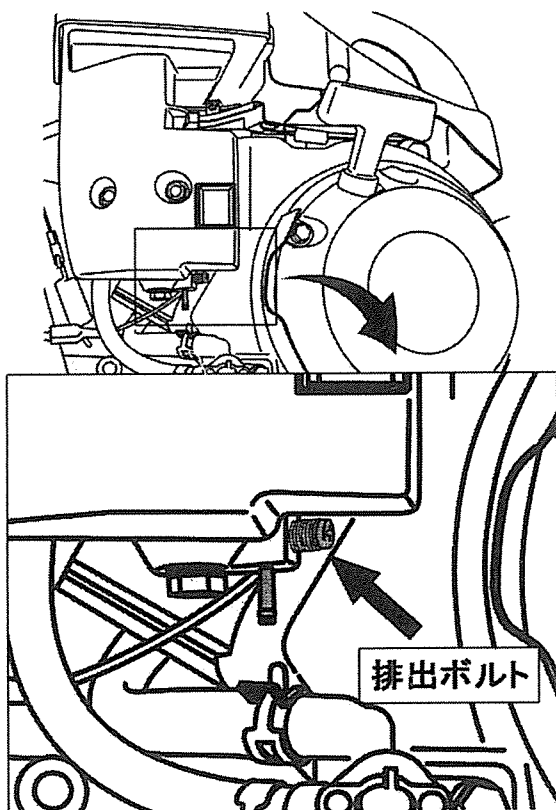
こんなときどうする

5、長期格納の仕方

- (1) 汚れを綺麗に水洗いし、泥やゴミ等を取り除き乾いた布で拭き取って下さい。
- (2) 塗装の剥げた所は補修塗装し錆やすい所にはグリースかオイルを塗って下さい。
- (3) エンジンオイル、ミッションオイルが汚れている場合は新しいオイルに交換してください。
- (4) 故障、破損している部分は修理しておいてください

燃料の抜き取り

長期格納時燃料をそのままにしておきますとタンク内や気化器内のガソリンが気化して、次の始動時に始動が困難になることがありますので、全部ぬきとってください。気化器内のガソリンは「排出ボルト」を緩めガソリンを全て抜き取ってください。



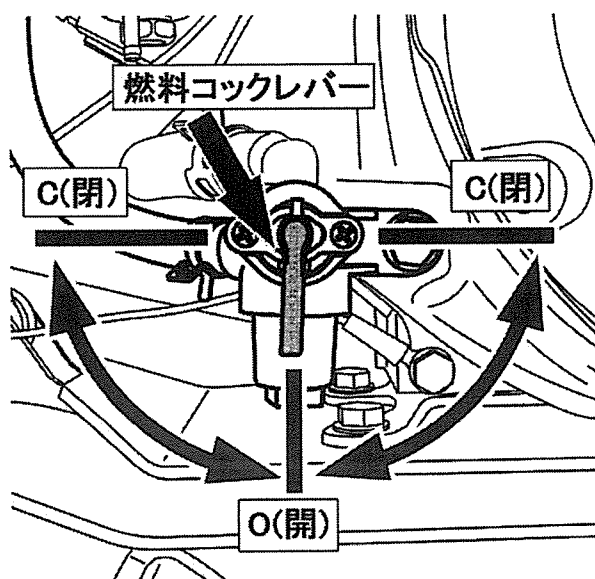
▲ 注意

車両で運搬する時の注意

☆燃料コックレバーを必ず「C」にしてください。燃料コックレバーを「C」にしないで運搬した場合、

次の現象が生じます。

- 機体の振動で気化器の針弁が振れる。
 - エンジンクランクケース内へ燃料が流入する。
 - エアクリーナに燃料が流入する。
- などからエンジン始動が困難な場合がありますので、必ず燃料コックレバーを「C」にしてください。



仕様・諸元

型 式 名		ヘルパーK35VS-B
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1410
	全 幅 (mm)	605
	全 高 (mm)	845
装 備 重 量 (kg)		45
エ ン ジ ン	名 称	GB101PN-356
	種 類	空冷 4 サイクル OHV ガソリンエンジン
	連続定格出力(kw/rpm)	1.6/3600
	総 排 気 量 (cc)	98
	始 動 方 式	リル式
	燃料, タンク容量 (l)	自動車用無鉛ガソリン, 1.2
主クラッチ方式		ベルトテンション
伝 導	エンジン→1軸	Vベルト (SA38 1本)
	1軸 → 車軸	ギヤ、チェーン
車 輪		ゴムタイヤ (φ320)
走 行 部	車軸 形状 (径 mm)	φ20 丸軸
	変 速 段 数	前進 2段
	変 速	車軸回転数(rpm)
	1 速	83.73
	2 速	110.64
そ の 他	ハンドル上下調節	菊座方式 (10° 可変)
	作業機取付け部	φ21 異形丸軸、32 X t12 平鋼 装着可

培土器の取付け方

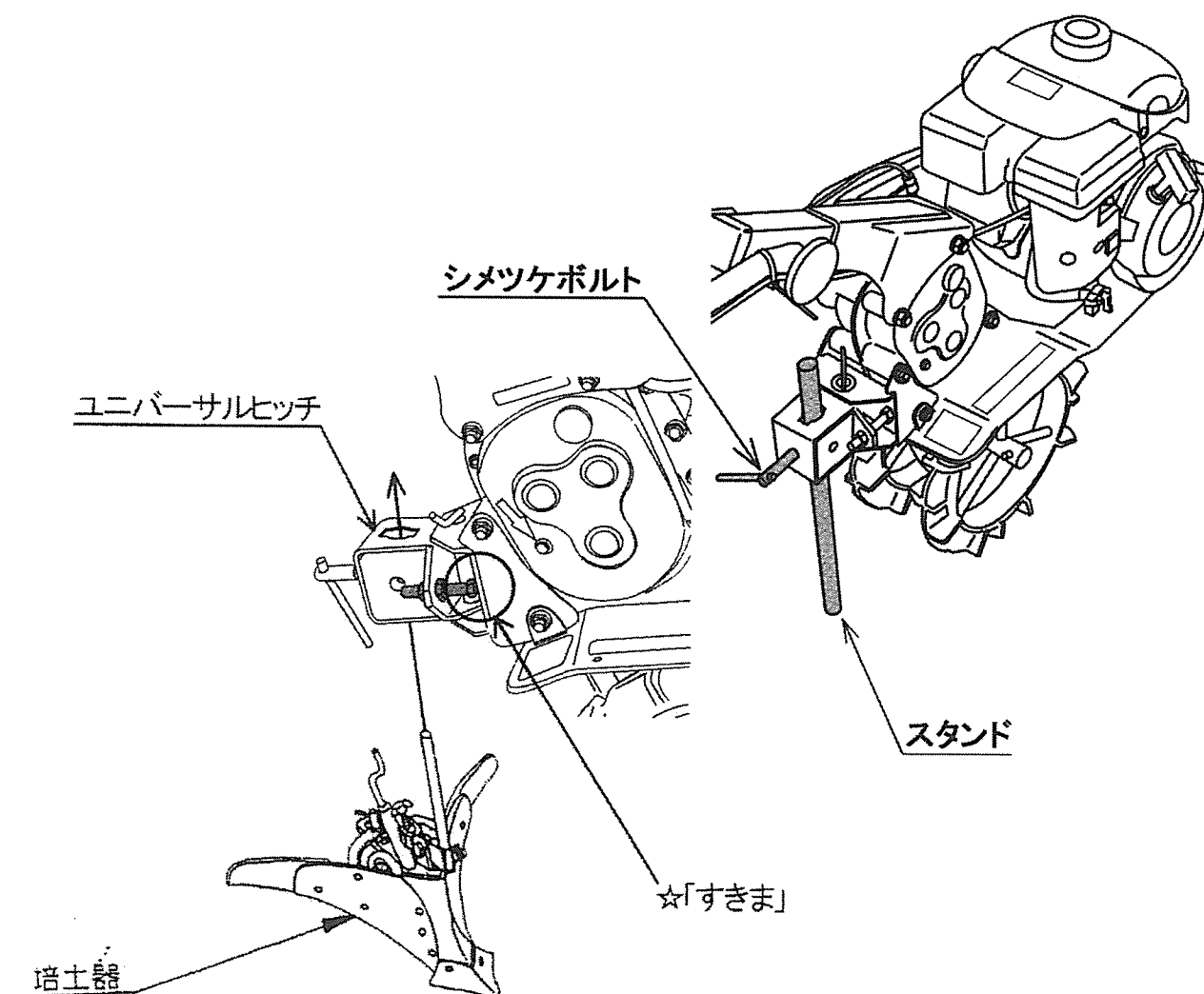


注意

作業機の交換・調整をするときは必ずエンジンを停止して下さい。

1. 培土器を本機に取付けるには、下図のようにユニバーサルヒッチの取付け穴に差し込みしてあるスタンドをシメツケボルトを緩めて引き抜いて下さい。
2. 次に、この取付け穴に培土器の取付け部を差し込んでシメツケボルトで固定して下さい。

☆ 3. 作業時の直進性を上げる為、ナットを緩めてボルトを調整して「すきま」を設定して下さい。
標準すきま「2～3mm。」



補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等でご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするよう研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷されていますので、安心してお使いいただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

品番 221980000451001

・製品のご相談は下記の販売店へ



関東農機株式会社

本社工場/本社営業所	〒323-0819 栃木県小山市横倉新田 493 TEL 0285(27)3271(代) FAX 0285(27)4627
鏡石工場/福島営業所	〒969-0403 福島県岩瀬郡鏡石町久来石大町 57 TEL 0248(62)4131(代) FAX 0248(62)4133
盛岡工場/東北営業所	〒028-4132 岩手県盛岡市渋民字岩鼻 20-55 TEL 019(683)1911(代) FAX 019(683)1119
九州営業所	〒866-0813 熊本県八代市上方町 1351-4 TEL 0965(31)0730(代) FAX 0965(31)0760